フルカラー
51ページ
気弱な彼女は
抗えない
～インターン寝取られ調教実習～

じゃ決まりだな
先方にはこちらから
連絡しておくから
はい
お願いします
っと
そういえば
おーい！
白川！
ひら
ひら
お前、来年就職
するんだったよな
冴乃湯旅館に
夏休みの実習について
話聞きたいんだけど
ちょっと時間いいか？
年度 合同説明会
ぱさ
えっ……
あ、はい…

白川は一昨年インターンで行って
今年もう内定が決まってんだ
そうなんですか
どうだった？今年行くんだけどさ
こいつ
わ…っぷ
どう…ですか？
そう、ですね……
いいところ、でしたよ
それに
きっと気に入ってもらえると思います
インターン実習頑張ってね

……でねー、
進路指導室にいた
先輩が美人さんで！
はぁ…
いいなぁ
美人の先輩さんが
見れて？
ちげぇし
相手のご指名なら
特別扱いして
貰えそう
だなーって
サボんなきゃ
良かったわ
へへ……
ちゃんと説明会
出といて
良かったよ～
ぴーす★
まぁ俺んトコのが先に
終わるからさ
冷やかしで泊まりに
行っちゃおうかな
え～
やめてよ～
いいじゃん
減るもんじゃ
ないし！
きゃー！
もう～！
頭ぽんぽん
するのダメ～！

そんなこと言って
本当は嬉しいんだろ？
すり
すり
…も～、
知ってる
くせにぃ
許してあげるの
修くんだけ
だからね？
可澄（かすみ）
好きだよ
あっ……
修（しゅう）くん……♥
……うん、
私もだよ

～2週間後～

湯

き、今日から
インターンで
お世話になります！
神崎可澄です！
よろしく
お願いしますっ！
おーキミが……
ふむ、なるほどな
ワシは社長の冴島だ

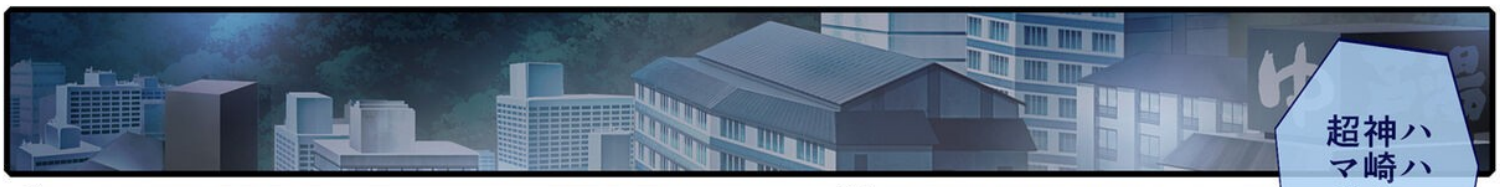
これは
当館の女将を務める
ワシの妻だ
女将さん綺麗な人だなぁ
若く見えるけど
何歳なんだろ…？

3日間ですが
頑張って
くださいね
……

では
あとは
若者達に
任せると
しようかね
…はい

貞和、しっかり
やるんだぞ
わかってるよ
父さん

初めまして
インターン指導を担当させてもらう人事部の冴島貞和です
どうぞこちらへ
よろしくお願いします！
わ、おっきい……私の背があんまり高くないのもあるけど……
トゥ
トゥ
合同インターン説明会の時に一目惚れしちゃってね
特別に学校を通して指名させてもらったんだ
ありがとうございます！こんな歴史ある旅館で実習できて嬉しいです！
冴島さんかぁ
良かったぁ～優しそうな人が担当で
これなら3日間頑張れそう！
ゲッ



ハハハw
神崎さん
超マジメ

もうちょっと
テキトーで
いいんだよ？

ほら、昼の
実習の時もさ――

そ、そんな！
だめですってば！

ちゃんと真面目に
こなすのが
モットーですので！

今日は
お疲れ様

コーヒー
どうぞ

あ、あの…
私……その…

コーヒー苦くて飲めない……
けど、断るのは申し訳ないな…

大丈夫
あんま濃く
作って
ないからさ

ほら

……！

あ、ほんとだ
全然苦くない…

……

じゃぁ……
一杯だけ…

むしろ
ちょっと甘い？
かもしれません！

にぐぐ……

ふぅ……
気に入ってもらえた？
はい！とっても美味しかったです！
そっかそっかー
あ、お布団自分で敷きます
あとまだ課題のレポートが——
あれ……？
なんか、おか、し……
いいんだよこれで
体がジンジンする…

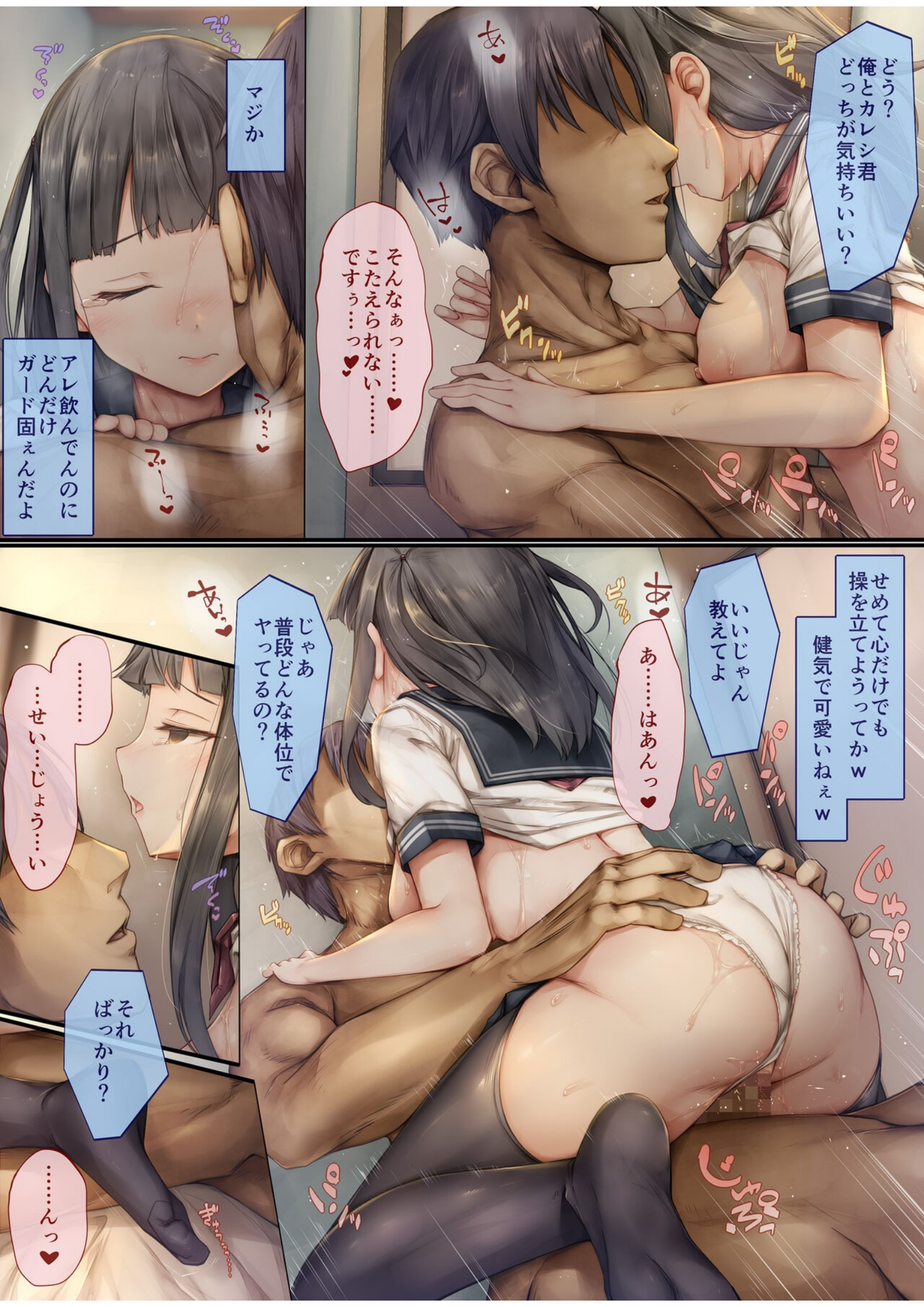
すごく…眠くて…
一気に飲んだからもう効いてきちゃったね
な…ん…？
大丈夫だよすーぐ気持ち良くなれるからさ
なに…言って……
ヤだ…
こわい……
助けて…修……くん…

はい、それじゃ撮影開始しまーす
ふぁい…♥
とろぉ…
おーいい具合に効いてんな
売人曰く、あれは最高にトべる薬らしい
まぁそれは俺にとってはどうでもいいんだが
一番の効能は口が軽くなって何でもペラペラ喋っちまうトコロにある
ドキ
ドキ
すぅ…
たゆんっ
仕事中我慢するのが大変だったぜw
クラスの男子に毎晩オカズにされてんだろうなぁw
それにしてもデケぇな
もみ
ん…っ
ふぅっ♥
むにゅ

どう？気持ちいい？
まだ効き目が甘いか？
あ…ん……っわかんない……ですぅ……♥
それとも理性がよっぽど強いか
じゃぁここは？
ひあっ……♥あ……ふっ……♥
もうぐっしょり濡れてるよ指だってほら
あああっ！♥い…い……です…ぅっ♥
めっちゃマンコ締め付けてきてるw俺の指はチンコじゃねぇっつのw

んー
よく聞こえ
ないなぁ
ひあぁっ♥
き、きもち……
きもちいい…
ですぅっ♥
すげー敏感に
なってるな
潮吹いちゃって
かーわいいw
さ、
それじゃ
そろそろ
いいかな？
……っあ♥

はい、ご開通っと
ズボ
ああぁっ♥ふか…いぃっ♥
ビクッ
ビッ
お前の膣に俺のモノの形を覚えさせてやる
ぶるんっ
覚悟しとけよ
ほら、上またがって
は…いぃっ♥
は♥
は♥
ぶるるっ
は♥
うぉっ……腰のうねりエッロw
ぐりっ
ぐりゅっ
ううんっ♥あ♥はあんっ♥
ん♥
ん♥
もしかしてカレシ君に相当仕込まれてんのか？
ズズッ


どう？
俺とカレシ君
どっちが気持ちいい？
そんなぁっ……♥
こたえられない……
ですぅ…っ♥
マジか
アレ飲んでんのに
どんだけ
ガード固ぇんだよ
せめて心だけでも
操を立てようってかw
健気で可愛いねぇw
いいじゃん
教えてよ
あ……はあんっ♥
じゃあ
普段どんな体位で
ヤってるの？
……
…せい…じょう…い
それ
ばっかり？
……んっ♥

なるほどね
それなら——
カレシ君はこういうことしてくれた？
えっ？
この反応
結構ヤり慣れてるかと思ったけど
深いトコロの経験は少なそうだな
奥が擦れて良いでしょ
おっ♥
あうっ♥
しら…ないぃっ♥
こんなの…しら……ないっ♥
おなか……♥
ごりごりって……♥
きもちい…っ♥

こういうのとかは？
ひあああっ♥だめっ♥
これ♥だめぇっ♥
テクかサイズに自信無いのか知らんけど
おかしく♥なっちゃうぅっ♥
そんなんじゃ俺の方が何倍も彼女ちゃんを満足させちゃうぜw

あ♥あああっ♥
すごいいぃっ♥
いま、イって♥
イってるからぁっ♥
ほら、どっちがイイか
早く言わないと
もっと激しくしちゃうよ
イイっ♥
イイですっ♥
修くんよりもっ♥
きもちイイですぅっ！♥
はい、
よくできました
言質いただきました、っと
カレシ君ごめんねw
薬使ってるとはいえ
これ可澄ちゃんの
本心なんだわw
さっきからずっと
キツキツのまんこが
締め付けてきて
離そうとしないんだよねぇ

じゃあ俺もそろそろっ…
あ……♥キてるっ……♥アツいのぉ……♥
はぁ♥
ぬぽぉ……
とろぉ……
ふぅっ……

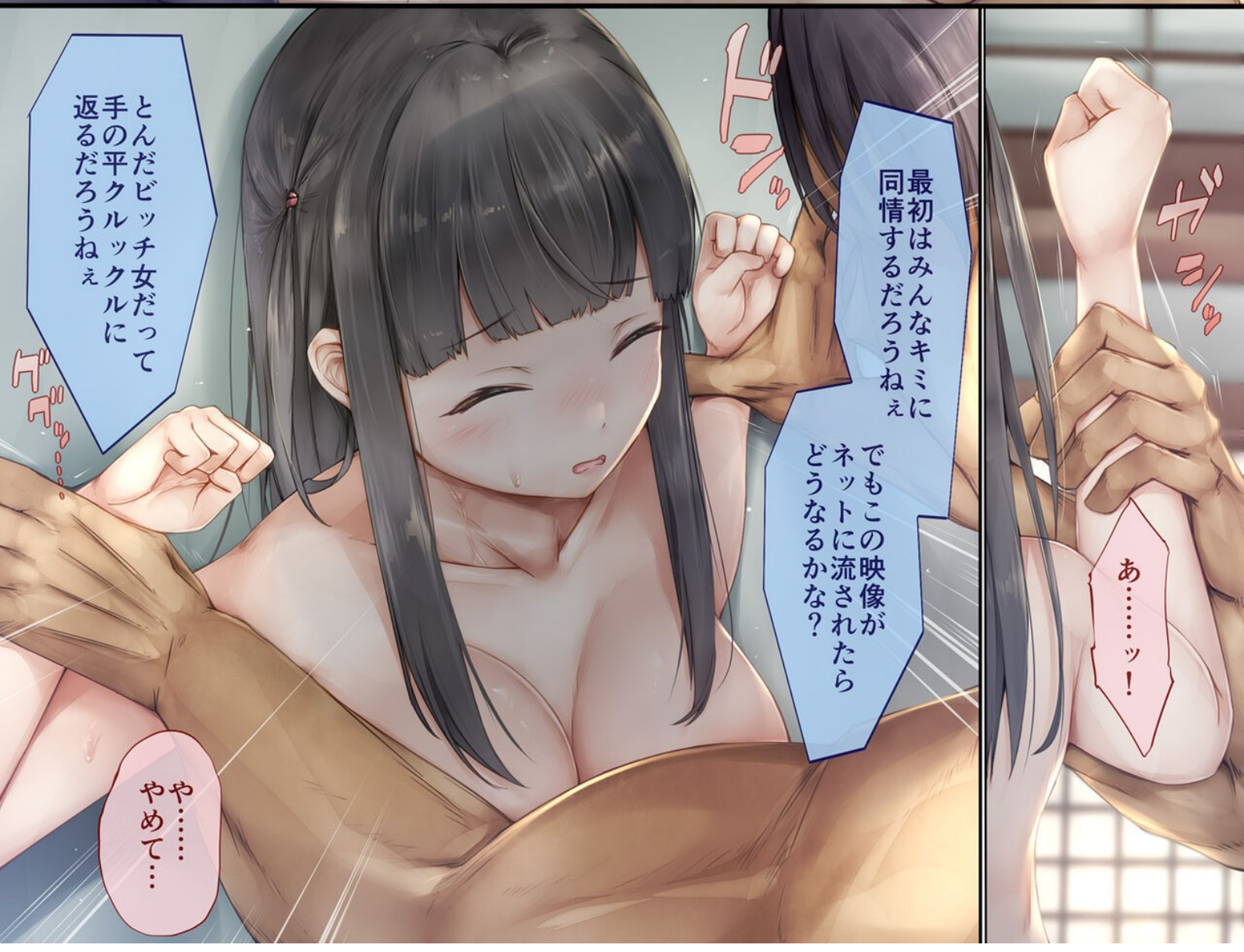
ほら、この程度でヘバってんなよ
はーっ♥
はーっ♥

良い乱れっぷりだったぜ
カレシ君への罪悪感で膣きゅんきゅんさせるとかどんだけ淫乱なんだよw
あーマジでこの子一番のお気に入りになるかも
はっ♥
はっ♥

あ…っ♥
ガシ
まだヤり足りねぇんだよこっちは
ふあ…ぃ♥
絶対オレ好みのメスに染めてやるからな
チチチ…
チュン チュン
ん……っ
あ…れ……？いつの間にか寝ちゃって……
なんか体がだるい…お腹のあたりがズキズキするし……
それになんで裸に――
……?!
な、なに…これ…？
あ、もう起きたの？おはよう可澄ちゃん

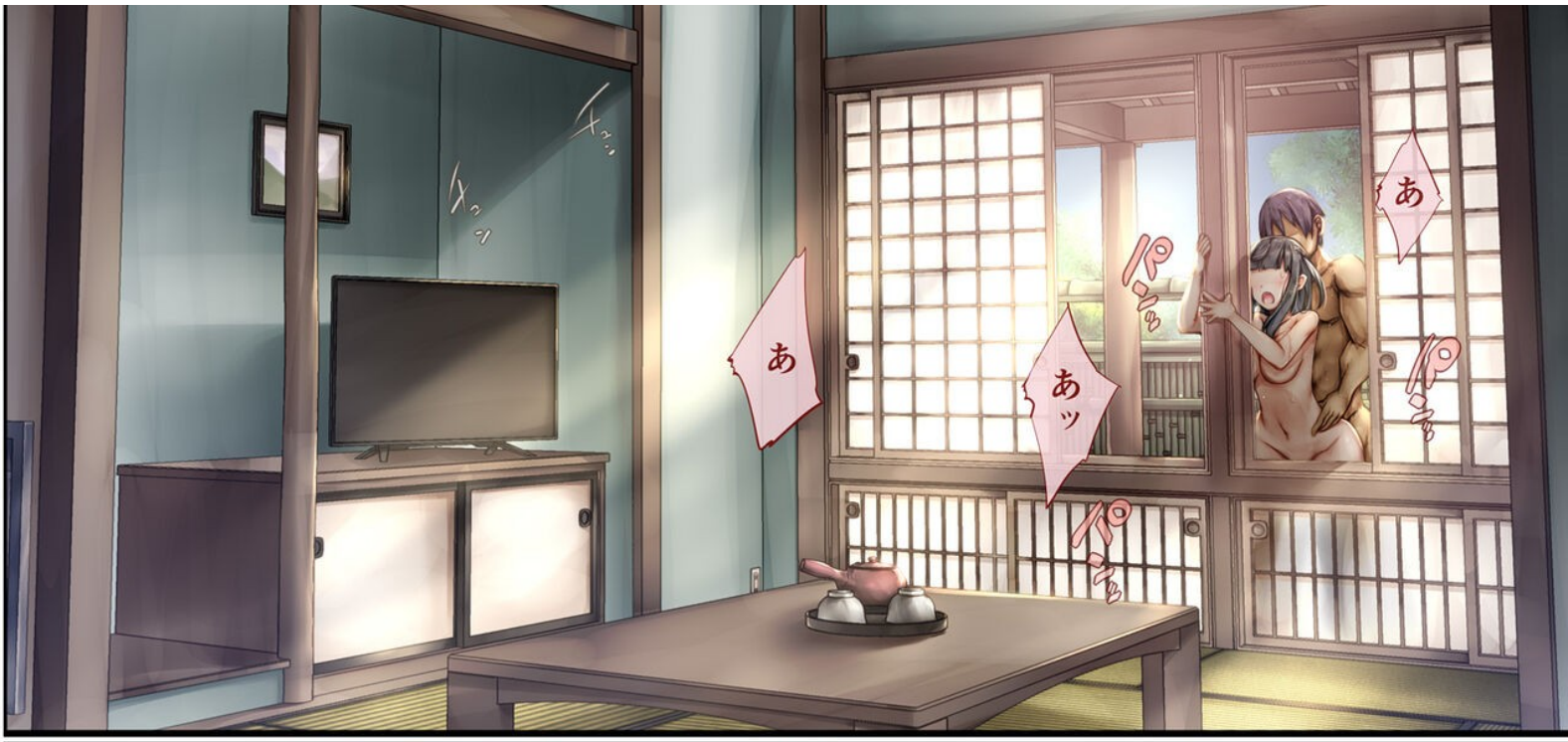
きゃっ！
……冴島さん?!
こ、これどういう状況…
ま、まさか——
そ。
昨晩は最高だったよ
う…うそ……っ
そんな……
ヒドイ…っ！
……警察に連絡しますよ！
へー、いいの？
そんなことしたら——
イイっ♥
イイですっ♥
修くんよりもっ♥
きもちいいですぅっ！♥
……！
な、何……
何ですかこれ！
可澄ちゃんのエッチな姿が全世界に公開されちゃうなぁ
……！
もちろんカレシ君にもね

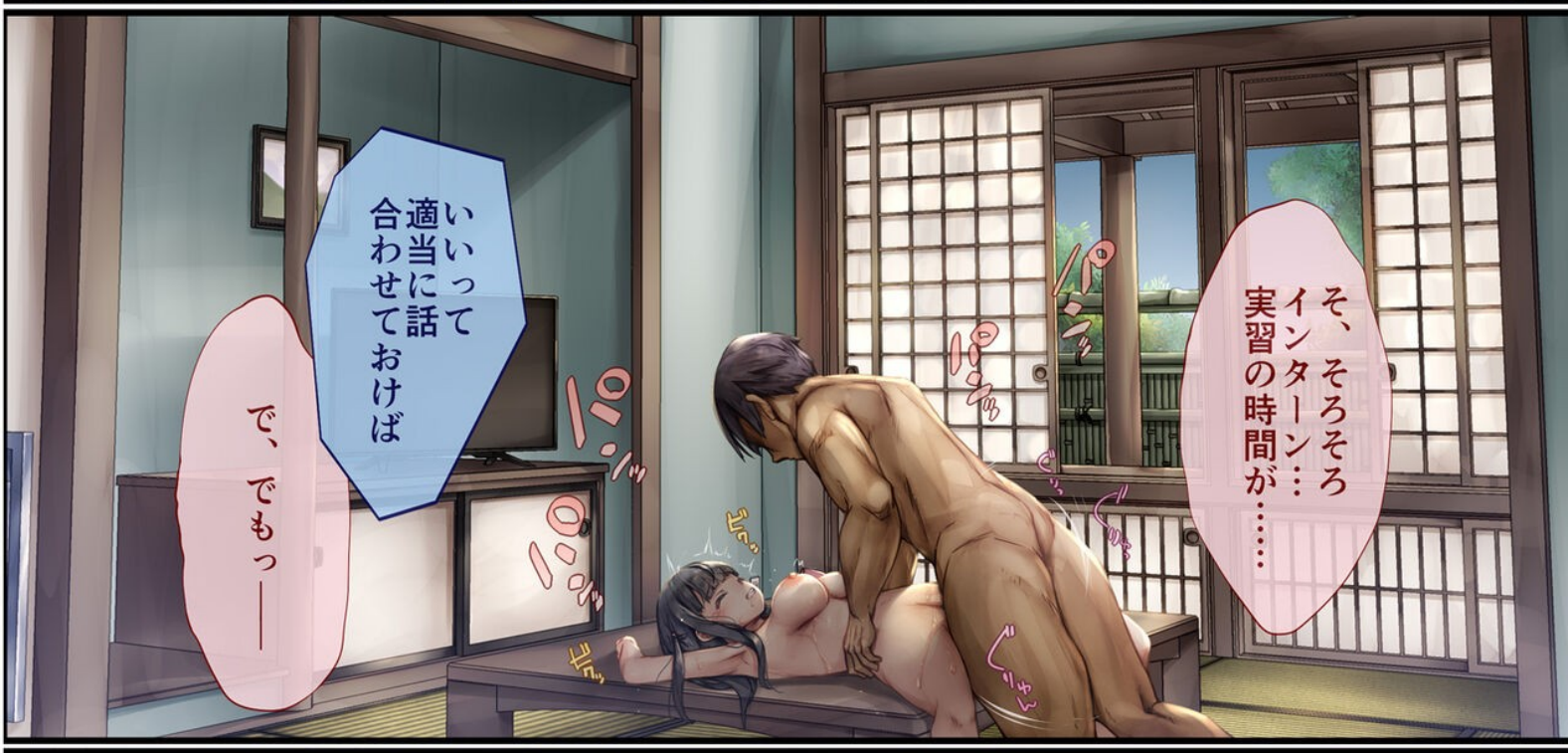
や、やだやだ！
知らない！
私こんなの
知りません！
そ、そんな
……っ！
キミは知らなくても
事実なんだよなぁ


ドンッ
ゲンッ
最初はみんなキミに
同情するだろうねぇ
でもこの映像が
ネットに流されたら
どうなるかな？
とんだビッチ女だって
手の平クルックルに
返るだろうねぇ
ゲゲッ……
あ……ッ！
や……
やめて…

数万回？
いや、可澄ちゃん
カワイイからさ、
ぐぐっ…
数千万回くらい
再生されちゃう
かもね？
街ですれ違う誰かが
キミの痴態を見たことが
あるかもしれない
ずっとそんな恐怖に
怯え続けるんだ
ぶるる
ぶるるるる…
そしたらもう
終わりだよ
キミの生活
全部
いやぁ……っ
ずるっ…
そ、それだけは…
許してください……
すとん…
ぜんぜん記憶
が無い……
でも…たしかに
映像の中にいるのは私で…

まぁ今日から2日間
キミが我慢すれば
全部丸く収まるからさ
なんてな。
たった2日でこれを
手放すなんて勿体ねぇw
クイッ
あ……っ
だめ…怖い……
考えが纏まらない…
わかった？
でも2日…この実習が
終わるまで耐えれば……
ビクッ
ぐしゅ
は……いっ
もみ
もみ
修くん…助けて…
修くん……っ
よし！
グッ
じゃあ薬飲んだら
風呂にでも入ろっかw
この部屋備え付けの
露天風呂があってさ——
トッ
トッ

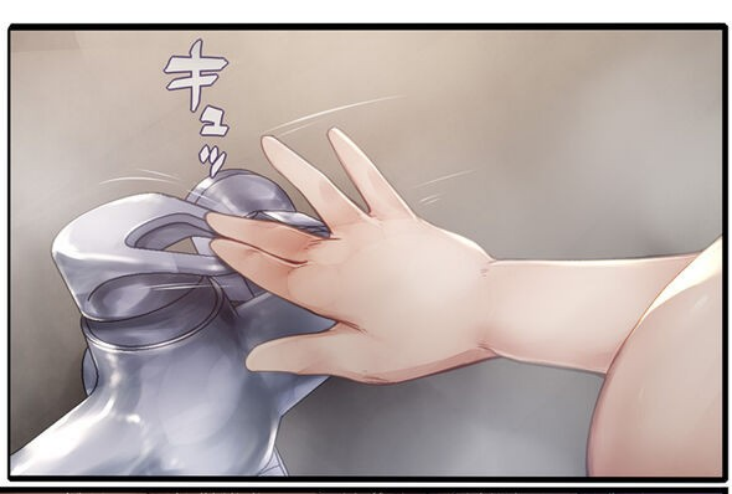

あ
あッ
あ


そ、そろそろインターン…実習の時間が……
いいって適当に話合わせておけば
で、でもっ――

あ…あんっ……
あ……！
も…休ませて…ください……っ
おまた……こわれ…ちゃ…うっ

イくっ…！
イきます……っ！
あ…っ♥
あーーーっ♥
ビュ〜〜〜
ビュビュ
ガ
ガガ
ガ
ガ

ぐすっ……
う……
ううっ…
はぁ…
ビク
ビクッ♥
はぁ…
ふぅ……
すげぇ良かったよ
可澄ちゃん
ガク
ガク
ぶるる
とろぉ…
ねぇ？
……っ
ぷち
ぐぐ…
ふぅ…
うぅ…
……
…はい……っ
ガチャ
ガクガク
さすがに
今日くらいは
アリバイ
作っとこうかw
まぁ風呂でも
入ってきな



おまたがジンジンする…

う…ううっ……

うまく歩けない……

ひょこ…

ひょこ…

なんでこんな事に……

私……

修…くんっ…

怖いよぉっ……

まだカレシ君のこと忘れられないんだ？
あっ……
さわ……
可澄ちゃん、昨日何回イったか覚えてる？
……知りません！
むにゅ
むにゅん
そうだよねぇ……覚えてられないくらいイっちゃったもんねぇ
さわ
ぴく
……っ！
ビクッ
こんなこと…っ
もうっ…
や…やめて……ください……っ
もみ
もみっ

ゲイッ
一日中セックスしてよく分かっちゃったんだよねぇw
ぽた
……
ぽたぽた…
グッグッ…
カレシ君より俺とヤる方が気持ちいいってさ？
そ、そんなことっ…ない……ですっ
グッグッ
私は修くんの彼女で…この人は……
ククッ
本当かなぁ？
ガシッ
ピトッ
グッ
！
ビキッ
ビキッ
お、おっきい……昨日ずっとこんなのが私のナカを……

じっくり見すぎw
……！
み、見てません！
グゥ…
いけない！
私いま何を考えて――
あっ……
つる、
彼女なのに……
ギ〜ン
いいよ、ほら、
そんなに好きなら
……分かるよね？
……っあ
ぺたん
この人は、私に
ヒドイことをしてて…
……
私は修くんの
彼女……

そうそう。イイよ
この人に言われると逆らえない……
んふっ…
ふうっ……
くぷっ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
これだって無理やりさせられて……
本当はシたくなんてないのに
あっ……♥
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ

欲しそうな顔しやがってw
まぁ本人は気付いてないみたいだけどw
やっべ、もう一発ヤりたくなっちまった
ほらさっさと股開け
そんなっ……
や……だめ…ぇっ
くぅ…ん

ちょっ…外では
やめてくださいっ…
もみ
もみ

いいじゃん
この時間は
誰もいないって
準備中だからさ
で、でもっ……

お、可澄？
?!
修くん?!

おー！
頑張ってんねぇ！
俺のほう終わったから
泊まりに来たぜ！

あ、ああ
そうなんだ…
そういえば
言ってたね、へへ…

2日会えんかっただけですっげー寂しー——
修くん待って！
えっ…ど、どうしたん？
近くに来たら気付かれちゃう……

私がイってるところ……っ
えっと…
こっちは女風呂のスペースだから、その、男の人は…ね……？
……っ
……？
……あっ！ご、ごめん！気が回らんかった

ううん！いいのいいの！
実習の邪魔しちゃ悪いし
……部屋番号送っとくからさ
また今晩でも
うん……またね

ドッ
へー、あれがカレシ君か
嫉妬しちゃうねぇ
ぐぐっ
もう！やめてください！
もう少しで修くんに
見つかる――
んンッ！
ちゅ…ん…
はぁっ……
や…絡みつくようなキス……
ぢゅる
ぢゅぽ
だめ……頭がとろけちゃう…
んふっ♥
んふっ♥

ぷはっ…
あ……
今日の実習終わりね
部屋戻るよ
グッ
え…っ？
ま、待っ――
トトッ

はあんっ！
く……ふぅっ♥
はげし…っ！
激しい……ですっ
パンッ
パンッ
パンッ
そりゃぁ
そうしてる
からね
あっ
はっ
いっ
ガシ
パンッ
ズンッ
ぐりゅっ
ぐりゅっ
ズンッ
パンッ
可澄ちゃんも
そっちのが嬉しいでしょ？
そんな…っ♥
修くんも同じ宿に
泊まってるのにっ
ぶーっ♥
ぶーっ♥
ぶーっ♥
ぶるっ♥
ぶるっ♥
ぶーっ♥
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
別の男の人と
セックス
しちゃってるっ♥

嬉しいなんてっ…
そんなこと…っありません……っ
ははは w
まんこ締め付けながら言っても説得力ないって w
いやぁ…っ
ごめんなさい…修くんごめんなさい……っ

も……もう、修くんのお部屋に行かないと…
パン パン
ふぅ♥
ブル
妬けちゃったなぁ……
ボソ……
……えっ？
ブル
ぐちゅ♥
もみ もみ
パン パン
可澄ちゃんが他の男と喋ってんの、正直ムカついたわ
くる。
そんなっ！私は修くんの――
ぐぢゅ
ちゅ…ん……ふ……ぅ
ぷぢゅ
クイッ
またこのキス……♥
何も考えられなくなるぅ……っ♥
ぐちゅ
とろぉ…

ぷは……っ
ンなの関係ねーよ
……っ
時間ギリギリまでね、いいでしょ？
や……ダメです…っ
こんな格好で会えない……
せめてお風呂に……
だーめ
パンパンパンッ
ぐぃっ
じゅぷっ じゅぷっ
そんな……ぁっ♥
くぅ…んっ♥
あ……また…出てるぅ……っ♥
だめぇっ……♥
出さないでっ…♥

可澄ちゃんのマンコがキツキツなのがいけないんだよ
そんなぁっ♥私悪くないっ……♥
いいや、可澄ちゃんは悪い子だよ
カレシ以外の男とこんなセックスしてさ
あ♥
ふぅ♥
ぐぐっ♥
ぶるる
ぬるぬる
ビクッ♥
だって…これはぁっ♥無理やり……ぃ♥
ニィ……
そうだったね。無理やりさせられてるんだよね
スリ……
ぴくん♥
……んっ♥

でもさぁ、本当にそれだけなのかなぁ？
えっ？
だってそうなると可澄ちゃんは無理やり犯されてるのに
感じて
イキまくっちゃう変態だよ？
ち、ちがっ…♥
ヒッ……♥
ほら、いま膣がヒクヒクしたよね
……っ♥
だめだ……もう全部知られちゃってる……♥
私の弱いところ全部…♥

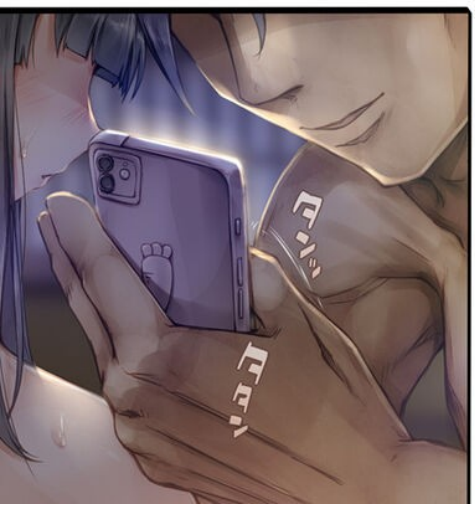
ほら、ここ一緒にすると気持ちいいでしょ？
んうっ！♥
あんっ♥
ま、またクる……キちゃうっ…♥
……え？
な、なんで――
時間だよ
……時間？

だめだ……
このままじゃ…
修くんが私の中から
薄れていっちゃう……

ははは w
カレシ君
待ってるって w
ドキッ
あっ……

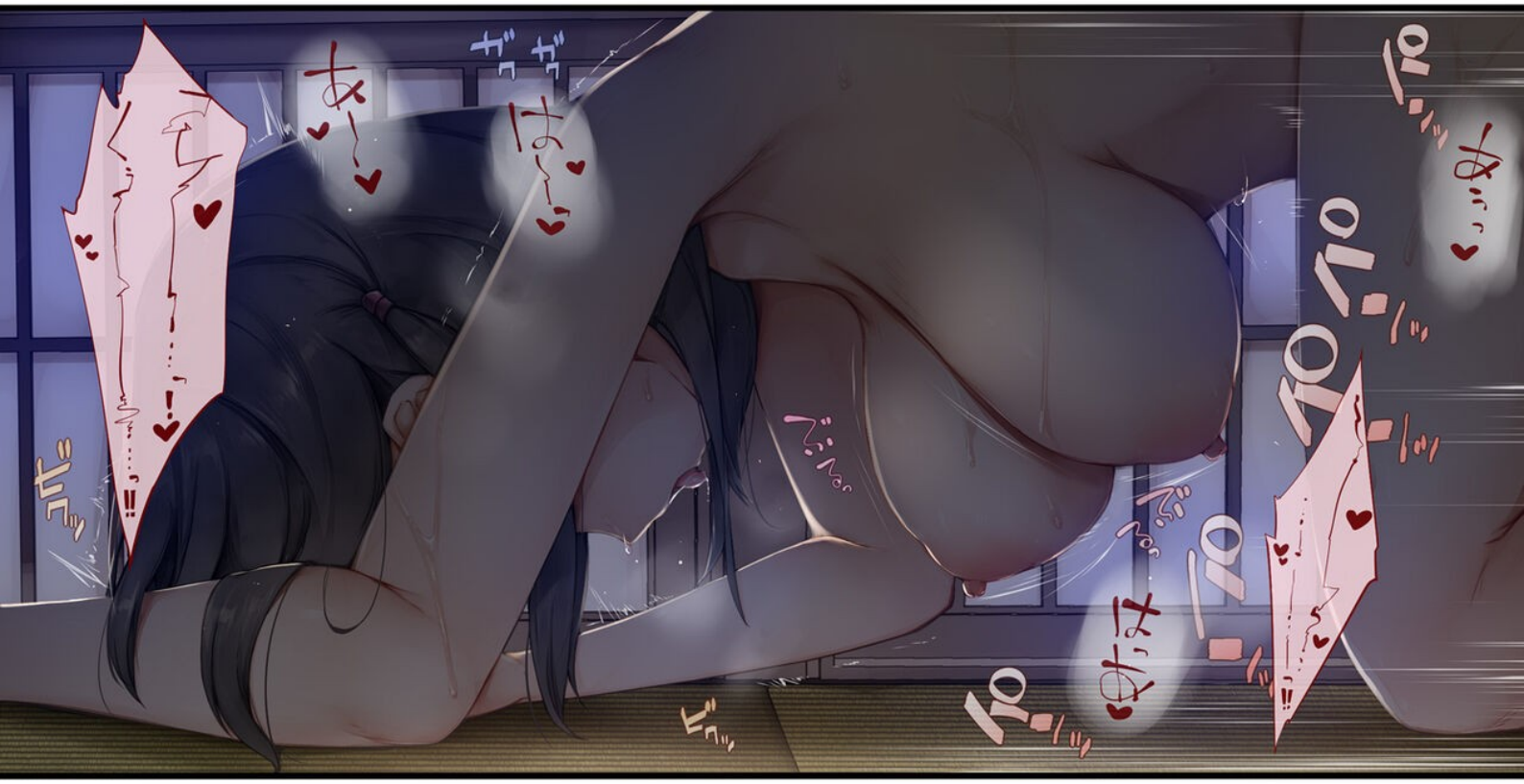
ああ……っ♥
冴島さんのカタチに
されたがってるぅっ…♥

だめだって
わかってるのに
うっ……♥
私のおまんこが
欲しがってる……



遅れるならカレシ君に電話してあげないとね
えっ?!
だ、だめっ!
待っ——
もしもし、可澄?
あっ!?
修くん?! えっと……
ほら言ってあげなよ
いま別の男とセックスしてるけどせっかくだからそっち行ってあげるってさw
きっと無駄なんだ
どう答えてもこの人は結局離してくれない
それなら私は——
可澄?
どうしたん?

…ううん、何でもない
……ごめんね
まだちょっと……
お仕事が終わらなくて
こんな時間まで
大丈夫？
んっ♥うんっ……
大丈夫…だから…っ
明日には、もう
わかった。
それじゃ明日
一緒に帰ろっか
私、頑張って
耐えるから…っ♥
うん、
私も……
あとお前
そそっかしいところ
あるからさ
無理して迷惑とか
かけるなよw
……好きだよ、可澄
しゅうくん
通話終了


あっ♥
ガクガク
はぁ～♥
あ～♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ

もういいでしょ。
ほら、もっと
おねだりしなよ
わたし……
この人に
逆らえない……
……
お願い……
します…っ♥
冴島さんのでもっと……いっぱい突いてくださいっ♥
よし、可澄のお願いなら聞いてあげる
違うの…これも無理やりぃ…っ♥
無理やり言わされてっ…♥

ああんっ♥
これ、好きぃっ♥
おなかぁ……♥
ごりごり♥って♥
だめ……っ♥
押し流されちゃ…っ♥
好きなのはテクだけ
じゃないでしょ？
もちろん
俺のこともだよね？
ううっ……♥
まぁそう簡単に
口は割らねぇわな
反応見てりゃ
分かるし
言葉なんて
どうでもいいかw

くぐ♥
私のおまんこ
もう冴島さんのカタチ
覚えちゃってるっ♥
気持ち良くなりたくて
迎え入れちゃってるっ♥
パン
パン
ぐぐっ
ぐぐっ
おっ
あー♥!
じゅぶっ
じゅぶっ
だめぇっ♥
だめなのにっ♥
もう♥これ以上♥
上書きしないでぇっ♥
パン
パン
ぐぐっ
ぐぐっ
イくぅ♥
イくぅ♥
イキまぁす♥
私の中から修くんを
消さないで……っ♥
はっ♥
ビクッ
ビクッ
くるっ……
ぐぐぐっ♥
おっ♥
おー♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ!!

はぁっ♥
はぁ……っ♥
あれ……
修くんのおちんちん…
どんな形だっけ……
あんな奥まで
届かなくて…
最高だったよ
可澄はどう？
あ……♥

……ッ！
だめっ…私……
今なんてこと…っ
ごめんなさいっ…♥
修くんっ……
ごめんなさいっ……♥
可澄
また会いたいな
…あ♥
……う♥
今度は俺から
会いに行くからさ
ひっ…♥
……あっ♥
楽しみに
待ってて

……お世話になりました
ガチャ
ドアが閉まる音
修くんごめんね
昨日はその……
ミーン
ミーン
気にすんなって
大変だったろ？
お疲れさま
うん……
ありがと…
あれ？
首んとこどうした？
赤くなってるぞ
クス…
えっ?!
あっ、
こ、これは！
えっと…虫刺され！
夜に刺されちゃってさ～
えへへ…
そっかー。
あ、これから飯どう？
う、うん…
……いいね！
昨日めっちゃ
調べたぜ
ここととかさ――